

## 基本情報

- ◆ 認定年度: 2018(平成30)年
- ◆ 設置時期: 2019(令和元)年9月
- ◆ 実施部局: 医学研究科
- ◆ 相手方機関: カリフォルニア大学サンディエゴ校(米国)
- ◆ 設置タイプ: アウトバウンド型
- ◆ 設置目的: UCSDのトップクラスの研究者とCenter for Novel Therapeuticsのフロアを共有して、共同研究、産学連携、教育連携、グローバルな人材育成を加速する。
- ◆ 設置場所: カリフォルニア大学サンディエゴ校(米国・サンディエゴ)
- ◆ 活動内容: 医学分野における国際共同研究を推進する。優秀な留学生の獲得や産業界との連携の強化が期待できる。

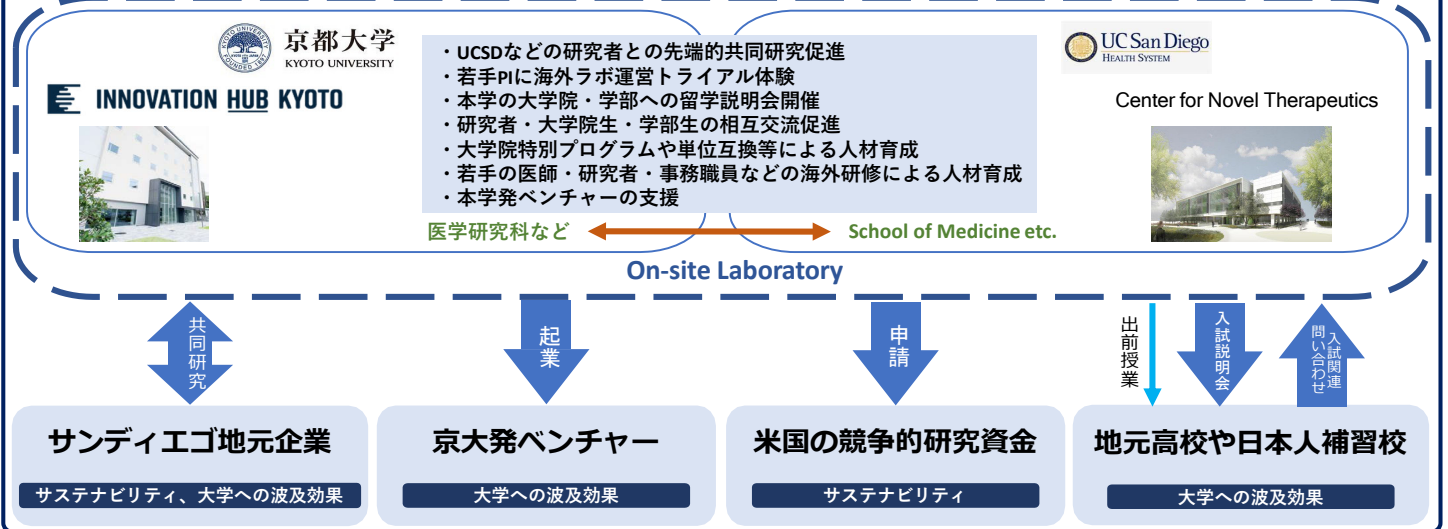
## 活動による大学全体への波及効果

- 若手の医師等の海外研修による人材育成
- 学生・職員の留学・国際交流支援
- 国際共同研究促進
- クロスバウンド型への発展
- 優秀な留学生獲得
- 京大発ベンチャーの支援

### 【2024年度】

- KURC-SDが所在するUCSD/MCCには、がん免疫研究において世界的に著名な研究者が多数在籍する。MCCを本学のカウンターパートとして両校の強みを生かした、がん免疫共同研究プログラムを設立することは、KURC-SDの発展・持続において重要なファクターとなるだけでなく、世界的評価の高いUCSDとのがん免疫共同研究により、最先端研究の牽引、治療を通じた社会貢献、京都大学の知名度向上が期待される。
- 本施設が研究環境の整ったオープンスペースとして機能することにより、本学からの入居希望者には、簡便かつ低予算でプロジェクトを開始する環境を提供できるようになる。

## 活動概要



## 2023年度の主な活動実績

### ① 第5回京都大学ライフサイエンスショーケース@San Diego 2024 (KULS2024) (2024年2月26日-27日)

- 本学を始めとする国内アカデミア発の医療領域のイノベーションの海外展開の支援を目的とし、KULS2024を現地に開催した。
- 国内外の11のベンチャー企業が登壇し、国内外から101名の参加者を得て、熱のこもったピッチ発表が展開された。
- ピッチイベントでは、米国での起業に知見のあるコメンテーター14名を含むベンチャーキャピタルや投資家、製薬企業関係者が出席しており、イベント終了後のレセプションでは、活発な情報交換や事前交渉が行われた。
- 2月27日開催の教育セミナー・見学ツアーでは日本国内から参加した7社、台湾からの2社を対象に、サンディエゴ現地在住の弁護士、会計士、投資家から米国での起業における税制上の注意点や在留資格や知財の取扱い、資金調達についての講義を実施し、インキュベータ施設の見学を行った。



### ② その他特筆すべき成果

- ヒトIPS細胞(人工多能性幹細胞)から作製した神経細胞をパーキンソン病の患者の脳へ移植する臨床試験が米国で開始した。
- 京都大学ライフサイエンスショーケースに参加した本学発のベンチャーがAMED創薬ベンチャーエコシステム強化事業に採択され、サンディエゴへ事業展開するとともに同社開発品の米国における臨床治験の準備を開始した。